

ダンスで心と身体をほぐし、カフェでおしゃべり

豊岡で パーキンソン病と 暮らす方の 交流会

参加者募集！
無料

対象▶パーキンソン病の方
※付き添いのご家族、介護者の方の参加 OK

定員▶各回 10 組(20 名)程度
※おひとりでの参加も可能です。

おどりんさるカフェ

簡単な運動で楽しく身体をほぐしたら、お茶を飲みながら病気のことや生活のことを話し合う、ゆるやかな交流会です。「ダンスはみんなのもの」をコンセプトに豊岡で幅広くダンスを届けている『ダンストーク (Danstork)』のメンバーがおやつをご用意してお待ちしています。

日程 2024 年 7 月 23 日 (火)
2025 年 1 月 30 日 (木)

時間 14:00～15:30 (受付開始 13:45)

会場 兵庫県豊岡総合庁舎 保健所棟 1 階 多目的ルーム
(豊岡市幸町 7-11)

内容

からだほぐし (30 分)

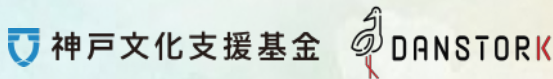
休憩 (15 分)

カフェタイム (45 分)

ファシリテーター

千代その子、梅本友里、井上雄介

主催：一般社団法人ダンストーク
協力：芸術文化観光専門職大学・古賀研究室、豊岡健康福祉事務所（保健所）、一般社団法人パラカダンス
助成：公益財団法人神戸文化支援基金



PD ダンス in 豊岡

※11 月 15 日は時間や内容が異なります。
詳細は裏面を確認ください。

日程 2024 年 9 月 20 日 (金)
2024 年 11 月 15 日 (金)※
2025 年 3 月 予定

時間 14:00～15:45 ごろまで (受付開始 13:45)

会場 芸術文化観光専門職大学 (豊岡市山王町 7-52)

内容

PD ダンスの体験 (60 分)

休憩 (15 分)

おしゃべりタイム (30 分)

PD ダンスファシリテーター

マニシア

PD ダンス体験

車いすや椅子に座ったままでできるダンス。PD とはパーキンソン病のことです。アメリカで始まった「Dance for PD」の活動をもとに日本では福岡から PD ダンスが全国に広がりつつあります。五感や想像力を働かせながら身体を動かすことで心もほぐれる効果があります。福岡の PD ダンス指導者がオンラインでみなさんと一緒に踊ります。※11 月 15 日のみ対面

おしゃべりタイム

パーキンソン病の方同士、病気との付き合い方などを話し合い、仲間をつくりましょう。
ご家族や介護者の方のテーブルも設けます。

主催：一般社団法人パラカダンス
協力：芸術文化観光専門職大学・古賀研究室、豊岡健康福祉事務所（保健所）、一般社団法人ダンストーク

申込方法

下記の情報を **メール**か**お電話**にてお知らせください。

- ① 参加を希望する日
- ② 参加者のお名前・年齢
- ③ 電話番号
- ④ メールアドレス
- ⑤ ご住所

※申込後 3 日以内に返信がない場合は、お手数ですが電話にてお問い合わせください。

《お申込み・お問合せ》

一般社団法人ダンストーク (窓口：千代・橋本)

メール info@danstork.com

電話 050-1721-5526

PD ダンスカフェ in 豊岡

「PD ダンス®」の活動は2019年より文化庁の委託事業として福岡市で展開してきました。豊岡市では2022年から準備を進めており、2023年には2回のお試し企画を開催しました。回を重ねるごとに仲間も増えてきたところで、この度晴れて、福岡から専門医と専門看護師をお招きして「PD ダンスカフェ」をお届けできることになりました。まずはこの場にお越しいただき、病気の情報交換や相談、仲間との交流を楽しんでみませんか？

**2024年
11月15日(金)**

スケジュール

13:00～ 受付開始
13:30～ ごあいさつ
13:35～ レクチャータイム (坪井教授)
14:00～ ダンスタイム (マニシア)
(15:00～休憩)
15:15 ごろ～ おしゃべりタイム
16:15 ごろ 終了予定

会場

芸術文化観光専門職大学 実習棟ホワイエ (豊岡市山王町7-52)



1986年千葉大学医学部卒。同大学神経内科に入局後、松戸市立病院等を経て1997年より福岡大学神経内科所属。2000年から3年間米国 Mayo Clinic 留学後、再び福岡大学病院に所属し、2011年10月～2024年3月まで脳神経内科学教室教授を務める。脳神経内科領域でも運動障害学、特にパーキンソン病を専門として臨床、研究をする傍ら、友の会顧問活動を通じて社会活動を行っている。現在は、つつみクリニック(福岡市)にてパーキンソン病専門外来センターのセンター長として勤務の他、東京にて順天堂大学共同研究講座特任教授も務める。

レクチャー講師・おしゃべりタイム立ち合い／坪井義夫教授

1994年国立指宿病院付属看護学校卒業。同年より福岡大学病院に入職し、2002年から脳神経看護を経験。2017年からパーキンソン病のデバイス補助療法に携わり、2019年 World Parkinson Congress(WPC) にケアパートナーラウンジ日本人スタッフとして参加する。難病看護師、パーキンソン病療養指導士として施設内のパーキンソン病の看護や様々な職種との連携調整を行うとともに、PD ダンスでは当事者だけでなく、ご家族(ケアパートナー)の方々への支援に取り組んでいる。



看護師・おしゃべりタイム立ち合い／山本澄子



ニューヨークにて長期間活動後、福岡を拠点に多世代かつ多様な方々とダンス活動を展開。マークモリス・ダンスグループで Dance for PD® の指導者育成講座を修了し、2016年より福岡で PD ダンス® を始める。2019年より「PDハウス」でも実施。さらに2023年からは PD ダンスファシリテーター養成講座にて後進の育成にも取り組んでいる。

PD ダンスファシリテーター／マニシア

高校卒業後、ダンス未経験でショーダンサーとして活動しながら叩き上げでダンスを学ぶ。退団後多様な表現に出会い、2016年コミュニティダンスファシリテーター養成講座修了。2018年福岡にて一般社団法人「パラカダンス」を設立。あらゆる垣根を超えた生き様のダンスに魅了され、医療、福祉、教育現場におけるダンスの可能性を探っている。



PD ダンス® 運営・アシスタント／野中香織 (そら)